

第5号様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	第3回清須市男女共同参画プラン策定委員会
開催日時	平成26年3月19日（水） 午後1時30分～午後3時40分
開催場所	清洲市民センター 3階303会議室
会議概要	1 あいさつ 2 議事 議題1 男女共同参画プラン（案）に対するパブリック・コメントの結果について 議題2 男女共同参画プラン（案）の修正について 3 その他 男女共同参画プラン（案）に関する報告について
会議資料	会議次第 資料1 清須市男女共同参画プラン【中間見直し版】原案
傍聴人の数 （公開した場合）	0人
出席委員	中島委員長、和田副委員長、神谷委員、山内委員、佐藤覚委員、原田委員、武田委員
欠席委員	佐藤益委員
出席者（市）	齊藤教育長、櫻井教育部長
事務局	（生涯学習課） 濱島次長兼生涯学習課長、栗本課長補佐、石田副主任、高山主任主査 （企画政策課） 岡田係長 （子育て支援課） 山田主事
会議の経過 （中島委員長よりあいさつ） 《意見の要旨》	

○中島委員長

お手元に次第がありますが、2番の議題に大きく2つ上がっています。プラン案ですが、それに対するパブリックコメントの結果についてと、プラン案の最終的な修正を進めてまいります。

まず、議題の1から進めていきます。事務局から説明をお願いします。

1 パブリックコメントの実施結果について

⇒事務局から、資料に基づき説明。

○中島委員長

残念なことですが、なかなか男女共同参画が何なのか、市民に理解されていません。意見を出そうにも市民にはよくわからない現実があります。それにしてもプランを策定するのに意見がないというのは。今回はありませんでしたが、次回こそ、市民の方、議員の方も含めて意見や質問をいただけるよう担当課に周知をお願いします。

続いて、2番の議題に移ります。プランの最終案が出ていますが、これに対する修正や意見をいただき進めたいと思います。事務局から、説明をお願いします。

2 プラン修正について

⇒事務局から、資料に基づき説明。

○中島委員長

前回は章ごとに分けて見ているので、全体を通して、ご意見やご質問をいただきたいが、いかがでしょうか。誤字、脱字も含め、気になる点があればご意見をうかがいます。

○武田委員

13 頁、アンケート調査結果の概要の対象ですが、“2,000 人から無作為抽出”とありますが、これでよいか。“2,000 人を無作為抽出”ではありませんか。

○中島委員長

これは“2,000 人を”無作為に抽出し、アンケートの回収数が 716、回収率が 35.8%ということで、“から”でなく“を”でよろしいですね。こういう誤字とか誤表記は出てきますね。

43 頁、前回も指摘したところですが、“グローバルの進展化に伴い”とありますが、“グローバル化の進展に伴い”です。ここも（修正を）をお願いします。

他に、お気づきの点があれば上げてください。

40 頁、インセンティブに※（米印）をつけて、用語説明もついでありますが、読んでいく際には理解が難しいかもしれない。インセンティブの後ろに（動機づけ）と明記していただき、詳しく確認したい場合は用語説明も見てもらおうよう配慮するのが良いと思うが、いかがですか。インセンティブの説明は 67 頁にありますが、男女共同参画に限らず、行政が施策を進めていく上で有効な方法として広がっています。基本法にも書かれており積極的改善措置の一つと考えていいと思われれます。イギリス、ドイツ、アメリカなどで施策を後押ししてきた経緯もあります。この箇所には（動機づけ）と後ろに説明を入れたいと思います。

○原田委員

67 頁、用語解説ですが、“ジェンダー”、“ジェンダーフリー”という言葉もよく使います。理解をしてもらうために、これも掲載してはどうですか。これらは本文にも出ていませんが。

○ 中島委員長

今後、講座に出た方が確認したいと思ったときに（用語解説に）ないので、“ジェンダー”を使って説明を入れておいた方がいいでしょう。“ジェンダーフリー”に関しては、一時期、バッシングがあり、誤解をまねき、いろいろな解釈がありますが、性別を無くしてただいっしょにすればいいというような、更衣室もいっしょにすればいいというような誤解がありました。“ジェンダーフリー”という言葉を使う行政をバッシングすることもありました。学術的に“ジェンダーフリー”は間違っていないが、私たちが男女の意識から本当に自由になれるか（“ジェンダーフリー”になれるか）というとな難しい。授業では“ジェンダーセンシティブ”を使っています。一般用語でないが、ジェンダー問題に敏感になって、できるだけ固定的な意識を無くそうという意味です。これは簡単にできることではありません。“ジェンダーフリー”という言い方よりも“ジェンダー”に敏感になろう、囚われないでいこう、という表現が今は多いです。

“ジェンダー”自体も難しく、思い込みや決めつけを指したり、“ジェンダー”の視点という用い方であれば男女差別の視点を表現したりもします。日本語にぴったりの訳、表現がなく苦労している面もありますが、“ジェンダー”という言葉自体は世界的に男女平等を進めていくときに指標として使われるので、ある程度は理解をしてもらいたい。

○原田委員

勝手に言葉が解釈をされていて、使うのも難しい。難しいからこそ、説明を入

れてほしい。

○中島委員長

用語解説の「サ行」のところに必要である、と思います。どこかで“ジェンダー”という言葉を使って解説をするか、用語解説だけでもしておく方がいいかと思います。

男女平等は、国際的には“ジェンダーイクオリティ”という訳し方をします。今後、国際的な場に出て行く若い人にも教養として意識してもらった方がいいでしょう。用語解説はつけていただきたいです。

○原田委員

メディアに流れると感覚的に流行ってしまうこともあります。根底にある本来の意味が消えて、おもしろおかしく使い勝手がいいように変えられることもあり、それは危険だと思います。

○中島委員長

大学では“ジェンダー論”“ジェンダー学”もありますが、小中学校ではそんな表現もしません。高校では“ジェンダー”という言葉に多少は触れる程度です。一般には浸透していません。本文に入れるか、用語解説だけでも入れておく必要があると思われます。

45頁、“ゲートキーパー”もどうか。なんとなくわかったような気もしますが、内閣府が自殺予防のための“ゲートキーパー”養成講座も行っていますが。この言葉で皆さんがわかるのでしょうか。これも新しい言葉ですが、用語解説までは必要ないでしょうか。

○原田委員

英語が堪能な方に聞いたことがあります。意味も知らないのに簡単に使っているから誤解を生むといわれます。使われている意味や思いまでが伝わらない。なんでも横文字で先走ってる印象があります。

○中島委員長

大きくいうと“守る”という意味ですが、声かけの程度から、(自殺予防の)働きかけを進めるということです。東尋坊で崖に向かっている人に声をかけることも入りますが、うつ症状のある人に声をかけることもゲートキーパーの役割になります。役割の幅広さがわかるような説明があればよいでしょう。

清須市や愛知県で、ゲートキーパーの養成講座などは開催されていますか。

○山内委員

2回ほど行っています。

地域の方に声をかけて、まずコミュニケーションを図ろうというところから始まっています。ゲートキーパーの資格があるわけではありません。

○中島委員長

用語解説はどうでしょうか。

○原田委員

何か書いた方がいいと思います。民生委員でも研修がありますが、受ける先生により“ゲートキーパー”の内容も変わります。受け取り方もさまざまなので、説明があった方がいいと思います。

○中島委員長

解説はほしいと思います。

47 頁、DV で統一をされていますが、この箇所には（ドメスティック・バイオレンス）と入れた方がいいかと思います。用語解説にもありますが、DV（ドメスティック・バイオレンス）と見出しのところには入れた方がいいと思います。5 頁に記載がありますが、まだまだ DV を知らない人もいます。見出しには入れた方が親切だと思うが。21 頁にもあります。ここは DV 被害と続くので、47 頁のところだけはいかがでしょうか。書式の統一性よりも、市民の理解のしやすさを優先したいと思います。なので、見出しのところには DV（ドメスティック・バイオレンス）とお願いします。

イラストはだいぶ変わりましたが、身長差が気になっています。51 頁、38 頁のお父さん、お母さんのイラストもありますが、こんなに違うか、とも思います。

データを調べてみましたが、小学校 6 年生までは女の子の方が平均身長が高い。その後は、女性の方が低くなる。30～34 歳の女性では 158cm、同じ年齢の男性は 171cm で、平均身長は 10cm ちょっと違います。

だが、全部、女性が小さくというのもどうか。51 頁のイラストは男女を同じ丈にしてもいいかと思いますが。

なにげないイラストであっても視覚表現はインパクトが大きいものです。イラスト全部でなくバランスなので、修正できるものについてはお願いしたい。また 5 年後に作成する際には、社会事情や女性、男性の服装も変化しているかもしれません。修正の効くところをお願いしたいと思います。

○武田委員

13 頁に“N”が出てますが、これは何ですか。

○中島委員長

人数です。男性が 294 人という実数です。

○事務局

答えてくれた人の数です。

○中島委員長

わかりにくいですか。例えば、17 頁も、N=127 で共働きしている女性が 127 人いたということである。N は実数など、断わっておいた方がいいのかも。日常的に関わっている業者やコンサルはわかりますが、一般にはわからない。わかりやすく、N は答えた人の人数であると書いてください。

60 頁、(2) 市民協働による推進体制の箇所を、“男女共同参画推進会議（仮称）の立ち上げをめざし”で、めざすというのをできるだけ早期に立ち上げていただきたいです。

他にご意見はありませんか。

○和田副委員長

純粹に男女が、男だけの社会と同じくらい当たり前に男女が混ざり合う感覚がいます。パワハラ講義も先日、受けました。パワハラも弱い人たちを助ける、女性の弱い部分に対して男性も助けることで全体もうまくいく。パワハラについても企業でよくいわれており、上司から部下への言動もパワハラとされて、うまく伝えることも必要です。伝えるテクニックもいる。書式というものにとらわれないという話も出たが、全体を流れるやさしさのようなものもいます。一つにこだわるのではなく、多角的にみた雰囲気こだわるというか。イラストもそうだが「女性が大きいね」「男性の格好だけど髪が長いね」など、全体の中でうまく表す。川柳ではないが、市で出したものも全体で表現しているんだとなることがいい。そんな考え方でまとめていただけると有難いです。

○中島委員長

この後は、皆さまのご了承をいただいた後で、教育長にこのプランを答申としてお渡しすることになります。内部で修正する点がありますが、これでよろしいでしょうか。

では、異議がなければ、挙手をいただき、プランとしてお渡ししたいと思いま

す。異議がなければ挙手をお願いします。

(委員より異議なし)

ありがとうございます。ご賛同いただいたので、お渡しするということをお願いいたします。

4 答申

中島委員長より、齊藤教育長にプランをお渡しする。

5 あいさつ

齊藤教育長あいさつ

○事務局

長期間・長時間のご審議ありがとうございました。以上で男女共同参画策定委員会を終了させていただきます。

閉会 (午後 3 時 4 0 分 閉会)

会 議 の 結 果	審議に関する事項はなし
問 い 合 わ せ 先	教育委員会生涯学習課 0 5 2 - 4 0 9 - 6 4 7 1 (清洲市民センター)